様式第３号

令和２年度　学校経営報告書（自己評価）

学校番号	６９（分）	学 校 名	天竜高等学校春野校舎	校 長 名	織田　敦

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	**多様な生徒に対する学習指導体制を整え、基礎学力の向上を図る。**	・授業の進度はちょうど良いと答える生徒の割合　（90%以上） ・先生は丁寧に教えてくれていると答える生徒の割合（90%以上）	・授業の進度はちょうど良いと答えた生徒の割合　86.2% ・先生は丁寧に教えてくれていると答えた生徒の割合　94.8%	B	・授業の進度の設定は、多様な生徒がいるため難しい問題である。できるだけ小集団や習熟度別のクラスを編成し改善していきたい。 ・「教え方に工夫がある」も90%以上であり、学習指導が向上していると感じた。
		・家庭学習時間の平均（平日 45 分以上）（ﾃｽﾄ前 90 分以上） ・家庭学習時間調査（年間４回実施）	・家庭学習時間「テスト前」は、目標を達成できた。 ・学習時間調査は、年間目標を達成することができた。	B	・テスト前の学習時間は毎年目標を達成しているため、生徒は学習の大切さは理解していると思われる。「平日」の学習時間が増えるような生徒への声掛けを工夫したい。 ・休校期間があったが目標を達成することができた。学習時間調査を活用し、生徒を励ましているクラスもあるため今後も続けていきたい。
イ	他者をいたわり、人間関係を大事にする心を養い、問題行動の未然防止を図る。	・問題行動の件数を前年度より減少させる。（令和元年度１件１名）	・問題行動の件数が１件１名	A	目標を達成できたが、生徒の自己有用感をさらに醸成することにより問題行動を予防したい。
		・安心して落ち着いた学校生活を送っていると答える生徒の割合（85%以上）	・安心して落ち着いた学校生活を送っていると答えた生徒の割合　87.9%	A	十分目標を達成することができた。SST 講座などによる生徒自身のコミュニケーション能力向上は極めて重要である。教員間で情報共有し、さらなる心の涵養を図りたい。
ウ	**生徒一人ひとりに寄り添い、よりよい進路を見つけ、その実現を図る。**	・進路についての指導が適切になされていると答える生徒の割合（85%以上）	・進路についての指導が適切になされていると答えた生徒の割合　96.6%	A	昨年に続き、３年生の進路決定状況は良好、第一希望の進路を実らせた生徒が多かった。各自が希望する進路先に進めるよう学力面の充実を図り、生徒の進路希望に沿った個別の補習を通年で行った。 ・進路補習の参加者を増や

様式第３号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					す取り組みを継続していきたい。
		・学年に応じて、進路講話や企業・学校見学、進路ガイダンスを実施	・年２回の進路講話、二俣校舎と合同の大学キャンパスツアーと進路ガイダンスの実施 ・昨年度より始めた、１・２年生進路ガイダンスの実施	A	・学年に応じた進路行事を通して、生徒に進路意識を持たせることができた。自己理解と共に上級学校や職業等の研究と理解を深め、より良い進路指導に繋がるような企画を次年度もしていきたい。 ・二俣校舎との合同進路ガイダンスを次年度以降、経費・日程調整の観点から廃止としたい。
エ	環境を整え、部活動、特別活動、読書活動において、充実感が得られるよう指導する。	・部活動に積極的に参加し充実していると答える生徒の割合 （75%以上）	・部活動に積極的に参加し充実していると答えた生徒の割合　84%	A	部活動に意義を感じ、積極的に取り組んでいる生徒が昨年度より増えた。
		・学校行事が充実していると答える生徒の割合 （85%以上）	・学校行事が充実していると答えた生徒の割合　87%	A	コロナ禍において中止を余儀なくされた行事もあったものの、限られた環境の中で、生徒会や委員会を中心に、主体的に学校行事に取り組む姿が見られた。
		・朝読書の時間は読書に親しむのに役立っていると答える生徒の割合（80%以上） ・図書館の内容は充実していると答える生徒の割合 （80%以上）	・朝読書の時間は読書に親しむのに役に立っていると答えた生徒の割合　88% ・図書館の内容は充実していると答えた生徒の割合　91%	B	・天竜文学賞への参加者が増え、関心が高まった。 ・読書月間を設け、天竜文学賞関連の本を朝読書で全校生徒に読んでもらい、好評であった。今後もこの活動を通して図書館の活性化を目指したい。 ・多様な蔵書構成を目指す。
オ	**自己健康管理ができる生徒を育成するとともに、教育相談体制の充実を図る。**	・保健関係たよりの発行 （月１回） ・生徒の状況把握調査 （年２回実施）	・保健関係たよりの発行及び生徒の状況把握調査を目標どおり実施した	A	生徒とつながりを持つことで、援助できる存在としてとらえてもらえる体制づくりをしていきたい。次年度も調査後の面談を実施したい。
		・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合 （85%以上）	・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合 91.4%	A	昨年度に比べて＋７%と十分目標を達成できた。SC との連携をはじめ、それぞれが抱える悩みに寄り添うことができた。外部機関と連携しつつ、さらなる校内体制の強化を図りたい。また、生徒サポ

様式第３号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		・生徒サポート委員会（基本週１回開催）	・生徒サポート委員会を原則として週１回程度開催		ート委員会は生徒情報を共有することで、教育相談の効果をより高めることができた。
カ	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	・防災訓練実施（年間３回） ・地域防災参加率（60%以上）	・防災訓練年間３回実施。 ・地域防災訓練の参加率　12.7%（実施した地区のみの参加率　42.1% 不参加理由は感染予防のため）	B	防災訓練を６月、８月、３月に実施した。コロナ対策のため、密を避けるなどの内容の変更が必要とされた。次年度も必要に応じて感染症対策に配慮したい。また、今年度は地域防災訓練を中止する地区が多かったため、防災訓練参加率は参考値である。
キ	地域・保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	・地域との交流やボランティア活動をしていると答える生徒の割合　（50%以上） ・春埜祭へのＰＴＡ役員出席率（90%以上）	地域との交流やボランティア活動をしていると答えた生徒の割合　47% ・春埜祭への PTA の参加は中止となった	C	・新型コロナウイルスの影響で地域の方々との交流や学校行事等への PTA の参加の機会がなかった。 ・刻々と変わる状況に対応しながら、家庭・地域・学校が連携し続けられるよう工夫していきたい。
		・春校だより発行（年間４回以上） ・ＨＰの更新（毎月２回以上）	・春校だよりは年間４回発行した ・HP の更新は毎月２回以上行われた	A	・春校だよりを予定通り発行することができ、HP の更新も頻繁に行われた。 ・HP をより見やすくリニューアルした。 ・今後も春野校舎の魅力を幅広く発信し続けていけるよう工夫していきたい。
		・監査・検査の文書指示・指摘件数（０件） ・校内での事故・災害箇所（０件）	・監査・検査の文書指示・指摘件数　０件 ・校内での事故・災害箇所　０件	A	事務執行において、指示・指摘を受けた件はなかった。校内での事故・災害の発生はなかった。引き続き、本校（二俣校舎）や、職員間の連絡を密にして相互理解に努め、少人数体制での施設設備の効率的な管理を行う。
ク	研修を通じて教職員の資質の向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	・職員研修会の実施　年５回	授業改善・授業評価を４回、防災関係を１回、特別支援関係を１回、不祥事根絶関係を３回実施した。また、不祥事根絶関係については、随時注意喚起を行った。	A	今年度は職員が外部で研修を受ける機会が減ってしまったのが残念であったが、校内での研修は充実させることができた。

様式第３号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		・不祥事根絶研修の実施　　月１回	３回は職員会議の後、時間をとって実施した。また、「コンプライアンス通信」を利用し教職員への注意喚起を月１回程度行った。	A	不祥事根絶月間である６月７月には、管理職が講話を実施し、「一人一対策」を教職員から募集することで、取り組む意識の確立を図ることができた。
		・平均 18:30 までの退勤	平日は、ほぼ 19:00 までに全職員が退勤し、長期休業中にはほぼ定時退勤が実施できた。	B	教職員各自がワークライフバランスを意識することができるよう、職場内の環境を整えていきたい。